

レビュー項目 (事業名)	HYOGOグローバルリーダー育成プロジェクト① 英語力向上のための研究と実践				部(局)	教育委員会事務局							
					所管課	高校教育課							
					担当班	教育指導班 (グローバル人材育成担当)							
					連絡先	078-362-9447							
開始年度	令和6年度	終了年度	令和8年度	関連計画等	第4期教育振興基本計画(国計画)								
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業												
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県							
事業目的	兵庫への誇りを礎に、探究心とチャレンジ精神をもって日本の未来を切り拓くグローバルリーダーとして活躍する人材を育成するために、英語力向上のための研究と実践を行い、第4期教育振興基本計画(国計画)の英語力の指標であるCEFR A2相当以上を達成した生徒の割合60%以上を目指す。												
事業概要	BYOD 端末を活用して、英語学習アプリとALT による指導を効果的に融合させる授業実践及び英語学習指導を行う。 ・実施校 20 校程度 ・対象校 CEFR A2 相当の割合が60%に到達していない高等学校等 ・期間 3年間												
令和6年度 当初予算	12,960 千円		(国庫)	6,480 千円		(特定)	千円	(起債)	千円	(一般)	6,480 千円		
評価 指 標	指標名		5年度 見込	6年度 目標	7年度 目標	最終目標 【年度】	設定の考え方						
	成果指標(アウトカム指標①)							第4期教育振興基本計画(国計画)において目標とされたCEFR A2相当以上を達成した生徒の割合(60%)を最終目標に設定 【目標数値の考え方】 直近実績で各年約1%上昇していることに加え、R6より高校1年生を対象にアプリを導入することにより、導入生徒が高校3年生となったR8年度から約2%の英語力の底上げが期待される(他府県のアプリ導入実績並) 【目標数値の推移】 R6: 56%、R7: 57%、R8: 59%、R9: 60%					
	CEFR A2 相当の生徒の割合		55%	56%	57%	60% 【R9年度】							
	成果指標(アウトカム指標②)							CEFR A2相当以上を達成した生徒の割合(60%)を達成するため、実施校において、対前年度増加目標率を設定 【目標数値】 R6: 1.1%、R7: 1.2%、R8: 8.1%					
	実施校のうちCEFR A2 相当の生徒の割合が対前年度増加目標率を達成した高校の割合		—	100%	100%	100% 【R8年度】							
	成果指標(アウトカム指標③)							公開授業を実施し、近隣校に施策を周知 【目標数値の考え方】 3カ年の実施期間で実施校(20校)を除いた全校(127校)が公開授業に参加					
	公開授業に参加した校数		—	42校	84校	127校							
	活動指標(アウトプット指標①)							他県のアプリ導入事例の達成率の推移を参考に、CEFR A2相当の生徒の割合を目標(60%)に到達できるよう学校数を指標に設定 【目標数値の考え方】 CEFR A2相当の生徒の割合が25~59%の学校(20校)					
英語学習アプリ活用校数		—	20校	20校	20校								
活動指標(アウトプット指標②)							担当者の意見交換・経験等を共有する場として実施 【目標数値の考え方】 年度当初、7月、年度末に3回開催						
全体研修の実施回数		—	3回	3回	3回								
活動指標(アウトプット指標③)													
終期設定		有 (令和8年度)					無						
改善基準		—											
外部 委員 意見	・アウトカム指標の設定が遠いのではないか。英語学習アプリの活用校(20校)に対してのアウトカム指標が必要である。アプリの活用校の生徒がどの程度英語力が向上したか、アウトカム指標に設定してはどうか。 ・アウトプット指標に、担当者(教員)の反省会や経験等を共有する場の会合等の開催回数を入れるべき。 ・アプリとALTを活用した指導法の確立やマニュアルの作成等を行い、横展開を図ることをアウトカム指標にすべき。 ・アプリを活用することが事業目的と見えないように、その後どのようにマニュアルを作成し、横展開を図っていくか全体像が見えるような事業設計が必要である。												
	見直し結果												
・外部委員会意見を踏まえ、アウトカム指標②③を追加、アウトプット指標②を追加した。 ・全体研修の実施や指定校での公開授業を通して、効果的な授業例を構築し、県立高校全校に周知・普及を行うこととしている。													